

令和4年度 環境で地方を元気にする 地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業

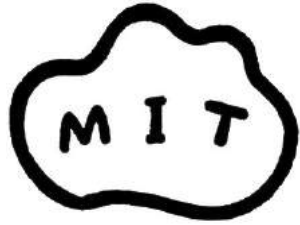


長崎県対馬 一般社団法人MIT

「暮らしの豊かさ向上と森林生態系保全」の実装
ヤマネコと共生する森づくりプラットフォーム事業

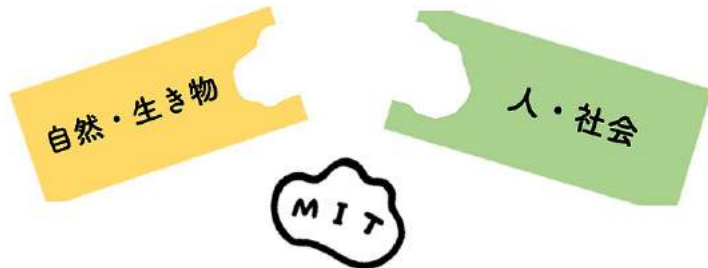


活動団体紹介



人と生き物のつながりをみつけ・いかし・つなぐ
生物多様性の高い島嶼地域である対馬を拠点に、
人と生き物のつながりをデザインする会社です。

【触媒役 MITによる化学反応（イメージ）】



自然・生き物と人・社会が分断されている状態



MITが関わることで、自然・生き物と人・社会に化学反応が起こり相互作用が起これ、自然共生型の持続可能な社会に資する多様な取組みが色々な形で展開されて、新たな価値が生まれる。

★オフィシャルウェブサイト mit.or.jp

M みつける部門 Consulting section

- ・ 行政施策支援
- ・ 人財発掘・育成支援
- ・ 各種調査業務

I いかす部門 Design section

- ・ 各種デザイン・イラスト
- ・ 広報・広告ツール作成
- ・ オリジナル商品開発

T つなぐ部門 Sales & Coordinate section

- ・ 物販直営店の運営
- ・ 商品の直販・卸売
- ・ コーディネート業務



対馬は森の島



対馬の森林生態系サービスの経済価値



機能の種類	評価額(年間)
二酸化炭素吸収	30.97億円
化石燃料代替	5.65億円
表面侵食防止	704.41億円
表層崩壊防止	211.05億円
洪水緩和	161.71億円
水資源貯蓄	218.51億円
水質浄化	365.90億円
保険・レクリエーション	56.36億円

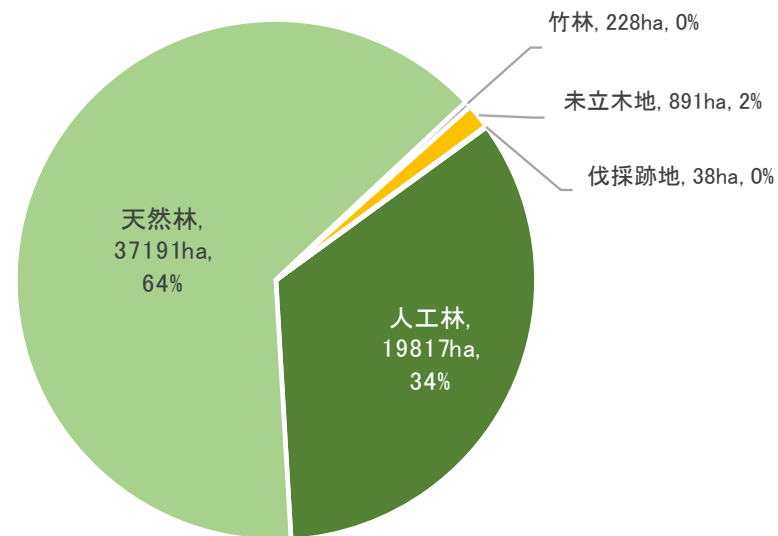
この価値を無料で私たちは、
享受して、生かされている。

1,756億円/年間

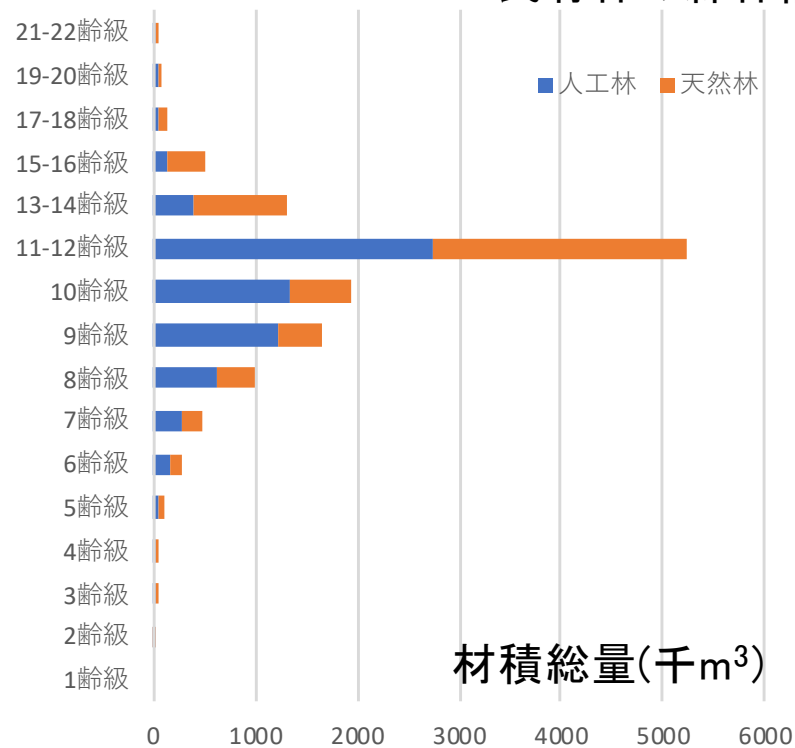
対馬の森林は日本全体の0.25%として
単純に日本全体の価値から算出

89%が森の島対馬市の年間の予算432億円

日本学術会議 (2001) 地球環境・人間生活にかかわる農業及び森林の多面的な機能の評価について



民有林の森林構成



材積総量(千m³)

ツシマジカの問題

森林サービス劣化
土砂流出、林業被害
生物多様性劣化

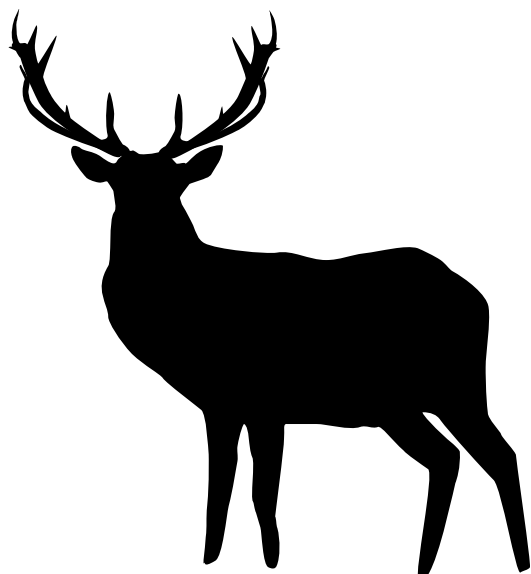
推定個体数**33,155頭**（理想個体する3500頭）

有害鳥獣対策関連 約**21億円**（平成7年度～平成30年度）

昨年度の捕獲実績 **約13,000頭**（見込）

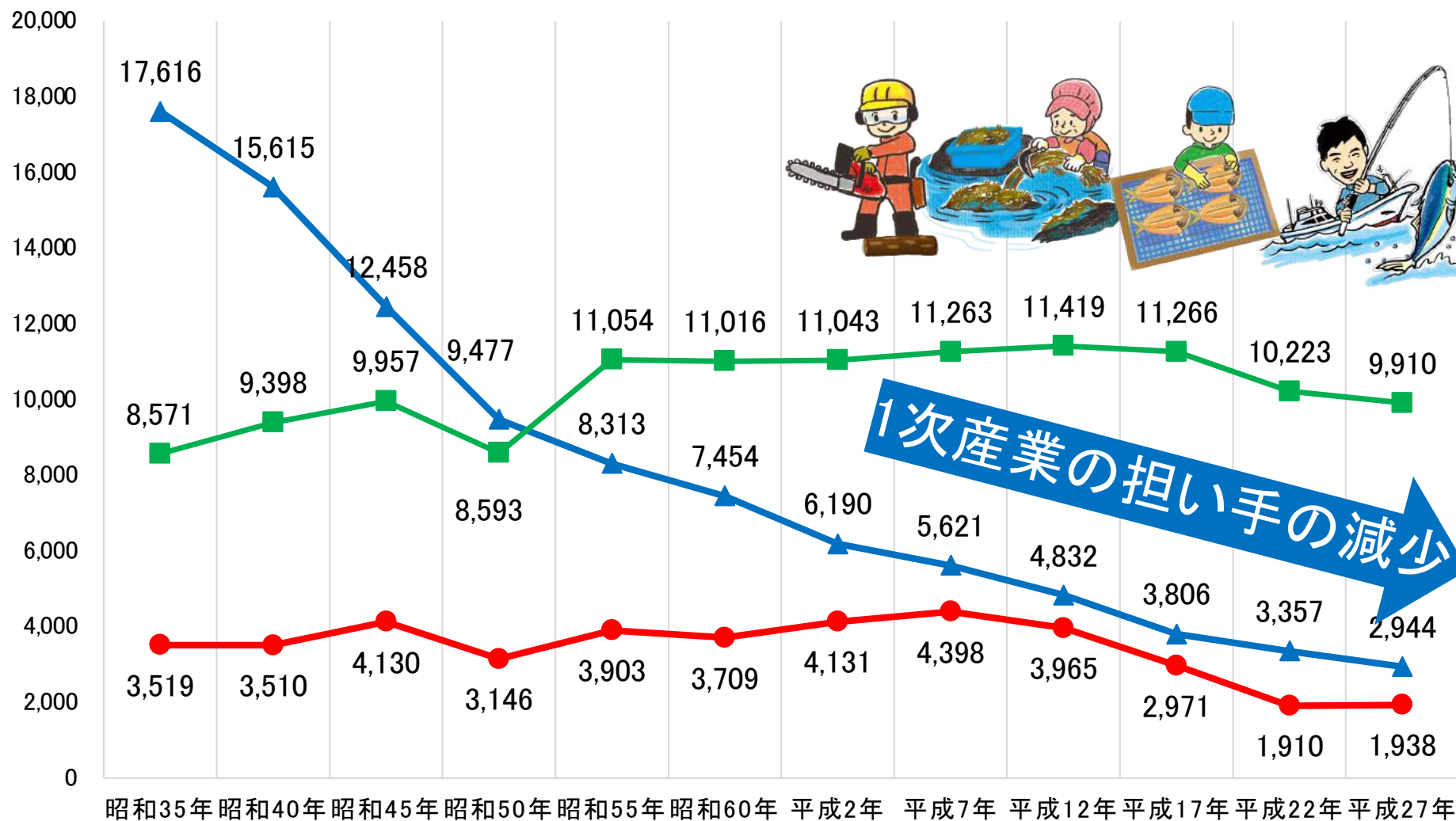
有害鳥獣従事者数 **188名**（平成31年4月時点）

ワイヤーメッシュ防護柵設置 総延長 約**1082km**



対馬の産業別人口の推移

▲ 第1次産業 ● 第2次産業 ■ 第3次産業



非経済林の管理と利用の仕組みづくり

コアゾーン (核心地域)

バッファーゾーン (緩衝地域)

トランジットゾーン (移行地域)

管理や保全による森の変化
適切な光量、最適な密度、下層植生の繁茂、森の湿度維持、樹木の成長率向上

シカ・イノシシの減少による森の変化
樹木が育つ、下草が生える、地下水の浄化・涵養、マダニの減少、林産物の増加

希少生物の保全のための森林整備
手入れ・土留

シカ・イノシシの対策と捕獲

地域の木材を使って建物の建築・リフォーム

家庭や公共施設 温泉施設での熱利用

木の駅の設置/薪ストーブの普及

NPO・市民団体

製造業者等

森林資源の高付加価値化
森づくりの副業化
森林認証制度の確立
地域経済の循環が広がる

土産店・スーパーで販売

小売店・土産店・商社

農協など

観光客・市民

森林資源の地産地消の推進

地産地消・地域経済の循環

地域経済の活性化

林産物のブランディング

外貨獲得

森づくりの担い手の創出

森づくりの担い手の確保

島の賑わい・交流人口拡大

人々と森の関係性の変化
森に関わる人が増える
子供達の遊び場創出
エコツーリズムの活性化

対馬らしい幸せ・豊かさの価値感醸成

森や生き物に興味・関心のある人が増える

若い人が対馬に移住・交流人口拡大

対馬のSDGsのしまづくりのブランド化

森林の保全と持続可能な利用促進
森づくりの予算や資金・体制・仕組みが整う

仕組み確立による一体的な森づくり
森づくりが加速的に実施
森林の価値を再認識
トラスト地が保護区として保全

対馬の森のゾーニングと最適な利用の促進

パートナーシップづくり

とらやまの杜協同組合

とらやまの杜協同組合設立

仕組みづくり・予算化

森のトラスト化と認証制度の構築

森林環境贈与税の活用

ユネスコエコパークへの登録

学生・市民

教育者

学びの体験

企業研修やインターンシップ

癒しの体験

エコツーリズム・森林セラピーの実施

天然由来の林産物

はちみつ

はちみつの採集

樫油、山椒等の採集

自然薯

自然薯の採集

原木しいたけ栽培

原木しいたけ

燻製チップ

炭・木工品

オイル

環境に配慮した効率的な林業の施行

食肉加工業者

製材所・薪製造所

木材・薪

ジビエ・レザーク商品

猟友会

個人・漁師

民間事業者

NPO・市民団体

大学・教育機関

環境省・市・県

関係団体等

PDCAによる管理計画の実行と効果検証

森林の生物多様性モニタリング調査

環境保全型の小規模な林業の施行

磯焼け対策

土砂災害の防止

放置残材等の海への流出防止

森里海の連環

放置残材等の海への流出防止

水道や防災のインフラ設備費用の軽減

森の涵養・浄化機能の向上

植物の気候調整機能の向上

温暖化対策

カワウソやキタタキの復活

生物多様性保全

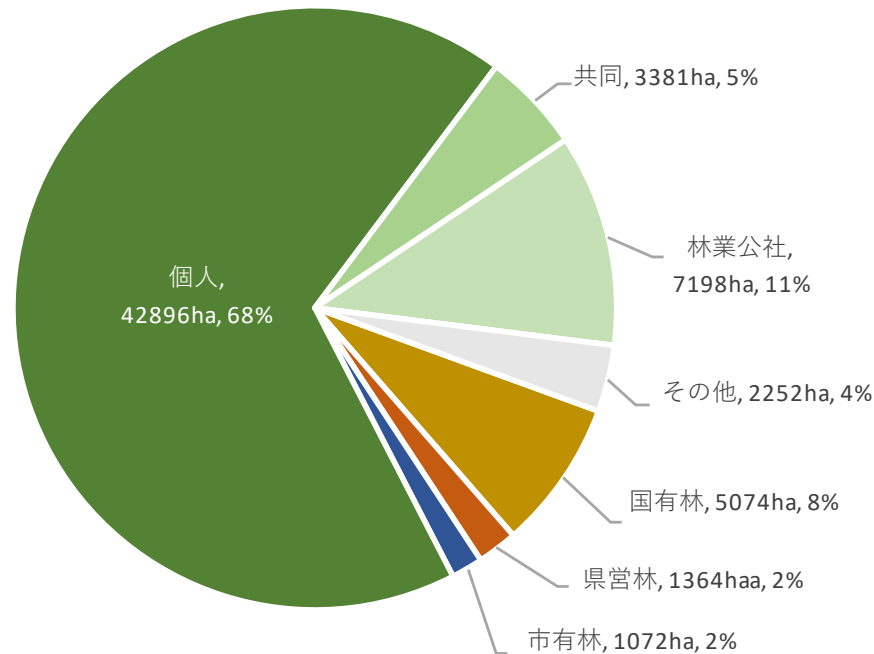
ツシヤママネコやウラボシジミの保全

新たな雇用創出

バイオマスの熱利用

取り組みを通じた地域プラットフォームの変化

対馬の所有形態別の森林面積



個人の森が68%あり、
民有林の森林管理が課題

みんなバラバラ

- 個人の地主は森を放棄したい
- 森づくりの担い手は場所がない
- 行政は縦割り、予算がない

対馬の森の今後の動き

■新しい森林管理システムの導入

- 所有者の特定と財産管理の確認作業
- 財産放棄の場合は市有林化
- 市の担当者だけでは対応が難しい
- 森林組合に委託して調査など実施

■民有林や市有林の管理

1. 経済林

森林組合等が針葉樹の伐採

2. 非経済林

多面的なサービス利用の推進

- 調査研究（価値の見える化）
- 教育サービス
- ヤマネコなどの保全（寄付）
- 水源涵養機能・CO₂固定機能
- 各種林産物の活用 など



森林整備の資金確保・雇用創出
保護区の設定などのゾーニング

ツシマモリビト協同組合による森づくり

非経済林を中心とした
森林生態系の保全と持続可能な利用

組合員

【森づくりの担い手】
森林資源の保全と利活用

【土地所有者】
非経済林の提供

ツシマモリビト
協同組合による
森づくりの推進

【行政】
非経済林の管理と保全
にかかる資金拠出

【ツシマモリビト協同組合】
非経済林のOECM/
トラスト登録

トラヤマの杜の認定・トラスト化(調査・調整)
トラヤマの杜のブランディング
資金獲得と組合員との協同事業の創出 等

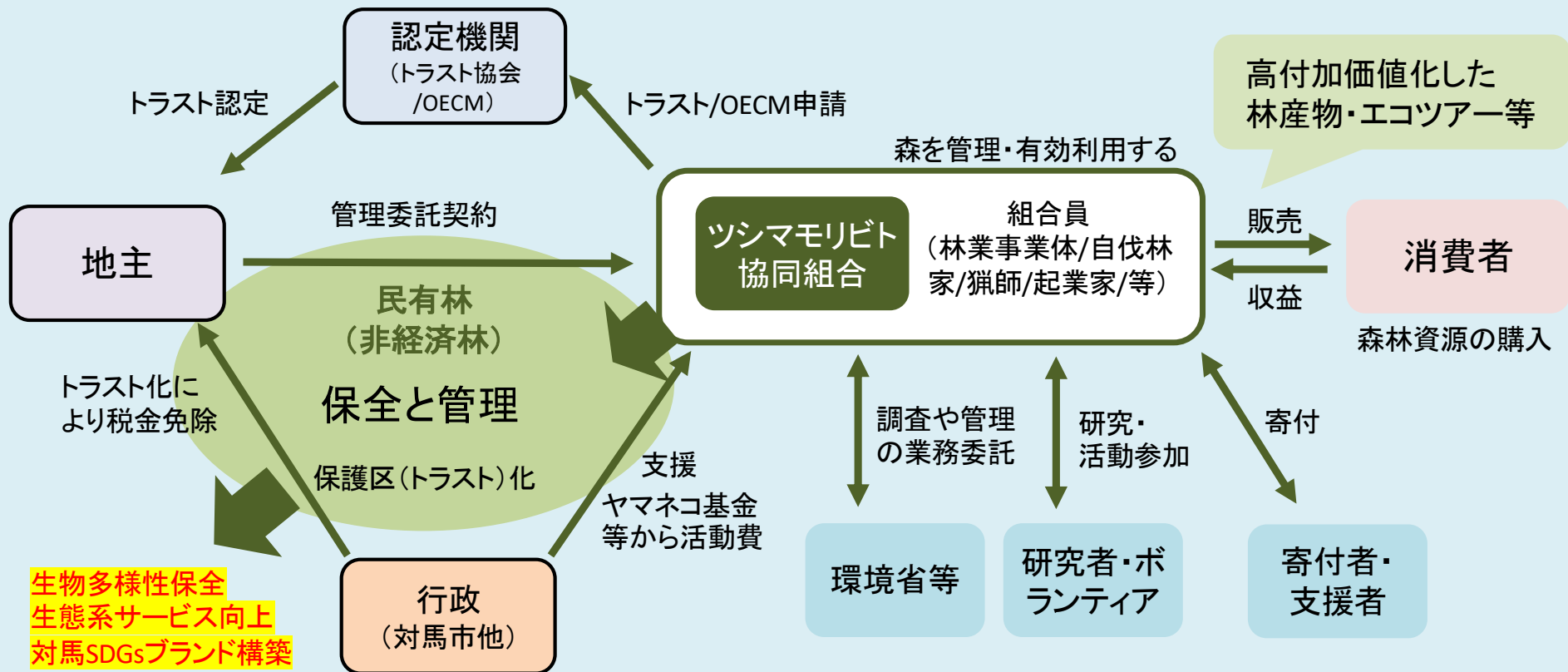
地域のありたい未来の実現のために 組織化に向けた体制づくり

仕組みづくり(雨・太陽)

ツシマモリビト協議会の設立
2022年2月22日

対馬木材産業 × MIT

調整中: 対馬市、日本ナショナルトラスト協会

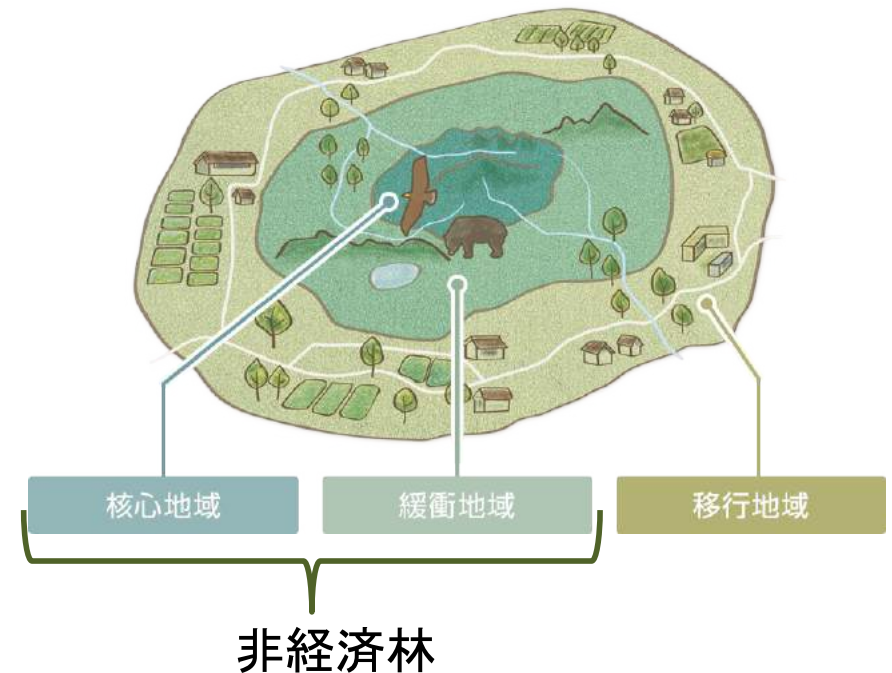


「トラヤマの杜」の定義

トラスト化した森

ナショナルトラスト/OECMへの登録

- 土地所有者が放棄したい森
- 林業事業者が採算性の点から施業を行う計画のない林
- 林業機械が入る作業道がない林
- 天然生林および育成複層林
- 環境保全の対象となる区域
- ユネスコエコパークの核心地域・緩衝地域に資する場所
- OECMで定義する場所



核心地域	景観、生態系、生物種、遺伝的多様性の厳格な保護・保全を目的に設定。守るべき自然環境・生物多様性が対象となり、法律やそれに基づく制度等によって長期的に保護が担保される必要がある。
緩衝地域	移行地域の人間活動から核心地域を保護することを目的に核心地域の周囲に隣接して設定される。核心地域に悪影響を及ぼさない範囲で、持続可能な、地域資源を活かした活動(エコツーリズム、学術調査研究、教育・研修など)が行う。
移行地域	人間の生活圏が対象となる。自然環境・生物多様性に配慮した産業活動や生活により持続可能な地域の社会経済的発展を目指す地域。

【ユネスコエコパークのゾーニングの概念】

とらやまの森認証制度の構築

林産物のブランディング・ストーリー化

とらやまの森において、森づくりを行なって得られた林産物について通常の商品価格+寄付の値段を設定として販売。ストーリーを発信し、支援者に商品購入を促す。売上の一部を森づくりの活動費に還元する。



ツシマモリビト協同組合の設立

■ 目的

対馬の個人所有の非経済林をトラスト化(認定)し、組合員が有効利用する仕組みを構築することで、ツシマヤマネコを頂点とする対馬の森の保全と持続可能な利用を推進することを目的とする。

■ 組織体制

協同組合員:トラスト化した森林(とらやまの森)を利用する個人・事業者で構成)

事務局:一般社団法人MIT(仮)

■ 財源

行政からの森づくりの委託事業(森林環境贈与税やヤマネコ基金の有効活用)、「寄付事業」、「組合(利用者)の会費」、高付加価値化した林産物やエコツーリズムの販売による自主事業

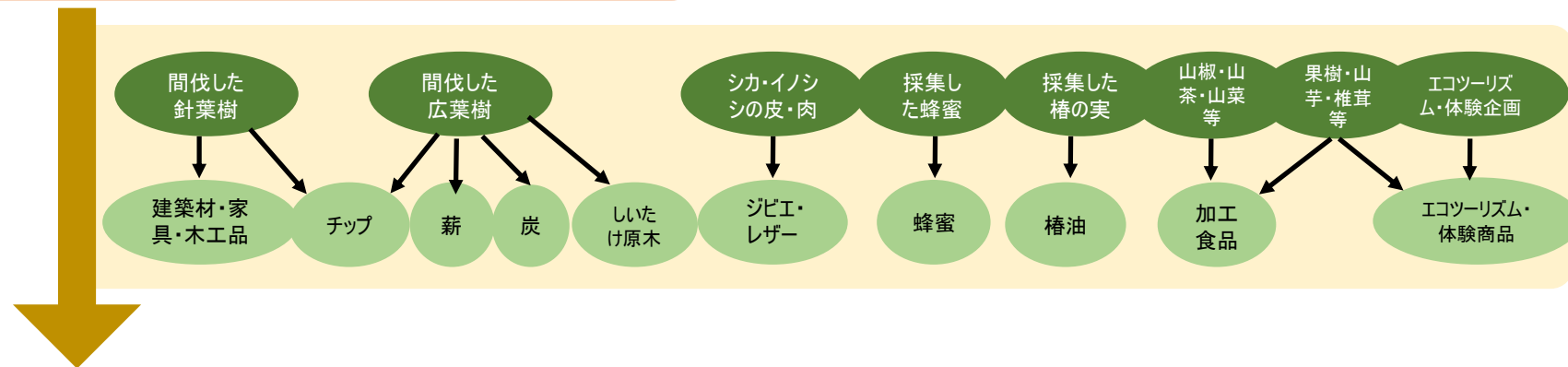
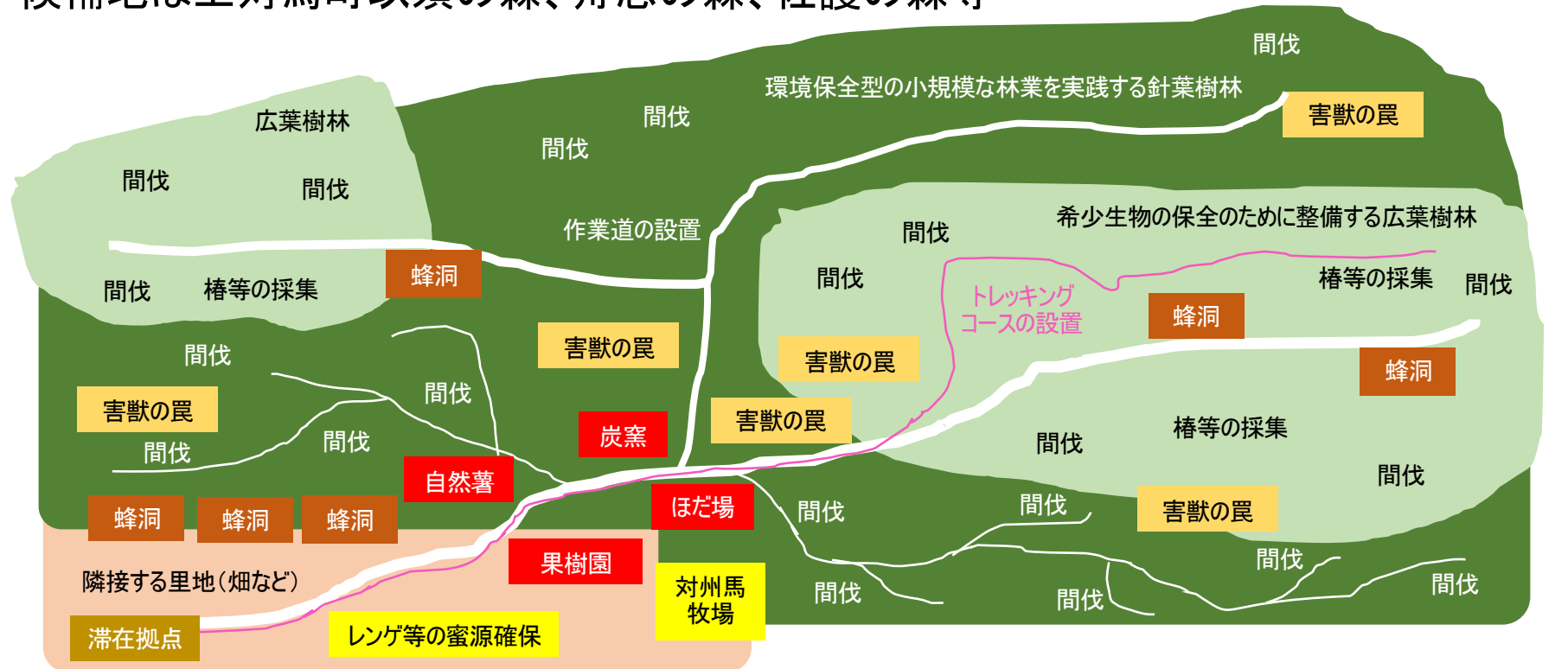
■ 事業内容

対馬の非経済林の一元的な管理業務

- 所有者との協定による民有林のトラスト化(トラヤマの杜認証)と保全・管理計画策定
- 森林資源の高付加価値化を目指す自主事業(製造・物販・エコツーリズム等)
- 組合員のトラヤマの杜の利用に関する管理・調整
- 行政や森づくりに関する諸団体との提携推進
- 森林保全や持続可能な利用に関する普及啓発・教育
- 行政からの自然環境の保全管理(保護区やトラスト地)の管理運営受託業務
- その他、当法人の目的を達成するために必要な事業

場づくり:モデル林での取り組み内容のイメージ

候補地は上対馬町玖須の森、舟志の森、佐護の森等



商品化し、販売し、生産者や事業者が、森づくりを行いながら、持続的に設ける仕組みを構築

今年度の活動内容①

(1)ツシマモリビト協同組合の設立に向けた準備

- 全国の事例収集・ヒアリングの実施・関係者との結果の共有
 - 知床財団・西表財団・トビムシ・ヒダクマ・利賀森の大学校・全国の森林組合等
 - 最適な法人の種類(財団/組合/株式/社団/NPO)の検討
- 先進地視察
 - 利賀森の大学校(ひとづくり)・ヒダクマ視察(広葉樹利用)
 - 7/11-14、11名(行政、新法人関係者、ツシマモリビト候補)
- 専門家の選定と連絡調整、招聘、現地意見交換会の実施
 - (株)さとゆめによる支援(現地2回)
 - 事業目的・理念にあった法人の種類や資金調達方法、チームビルディング、資源の掘り起こし
- 法人化に向けた地元関係者との協議
 - 年4回の準備会合を経て、2月に設立(さとゆめ支援含む)
 - 事業目的・内容・理念、役員構成、資金調達、事業計画の策定

今年度の活動内容②

(2)「トラヤマの杜」の定義・認定制度の検討

- 全国の事例収集・ヒアリングの実施・関係者との結果の共有
 - OECM、FSC・PECF認証、ローカル認証等
- 先進地視察の準備（連絡調整）、実施、まとめ
 - 森のローカル認証導入地やFSC認証林、理想的な森づくり実施地域
 - 西粟倉、岩泉、北海道（札幌の三菱マテリアルの森札幌 稲毛山林）
- 専門家の選定と連絡調整、招聘、現地視察・意見交換会の実施
 - 森づくりの専門家（利賀森の大学校の長谷川氏？）
 - 森林総合研究所、古川ちいきの総合研究所、アマタ株式会社 等
- 認定制度の設計に関する地元関係者との協議・管理計画策定
 - 玖須の森・舟志の森・トラストの森、OECM導入の検討

7月11-14の利賀・飛騨視察について

- 対馬における広葉樹の持続可能な利用と保全に向けたツシマモリビト協同組合の立上げと事業内容の検討に向けて、**TOGA森の大学校**及び**ヒダクマ**の取り組みから学び、自分たちの事業構想を膨らませること。組織づくりの中核となるメンバーやツシマモリビト候補者が視察に参加することで、パートナーシップの構築も進める。



所属	氏名
長崎県対馬 振興局 林業課	本山広美氏
対馬市役所 自然共生課	神宮周作氏
対馬市役所 島おこし協働隊	瀬谷友啓氏
対馬木材産業	松本辰也氏
元役場職員・百姓、ツシマモリビト	豊田俊房氏
漁師、ツシマモリビト候補	細井尉佐義氏
メープルシロップ、ツシマモリビト候補	池田俊寛氏
Youtuber、ツシマモリビト候補	森田雄大氏
自然ガイド、ツシマモリビト候補	鍵本紘樹氏
daidaiインターン生、ツシマモリビト候補	川端優花
MIT	吉野

地域のありたい未来の実現のために 今年度取り組むこと

なりわいづくり(果実) 経済的視点

森林資源の持続可能な利用
のための具体的な経済活動
の作り込み

森林資源の高付加
価値化の実践

休眠預金事業で実施 ソーシャルビジネス

ひとづくり(葉っぱ) ESDの視点

持続可能な森づくりの
担い手の確保と育成

ツシマモリビトの
確保と育成の場づくり
(チャレンジセンター)

つながりづくり(枝) 社会的視点

一体的で持続可能な
森づくりを展開するた
めのネットワークづくり

関係者との意見交換会の実施

場づくり(土壌・根・幹) 環境的視点

森林の保全と持続可能な利用
のための場づくり

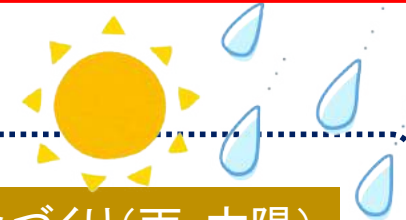
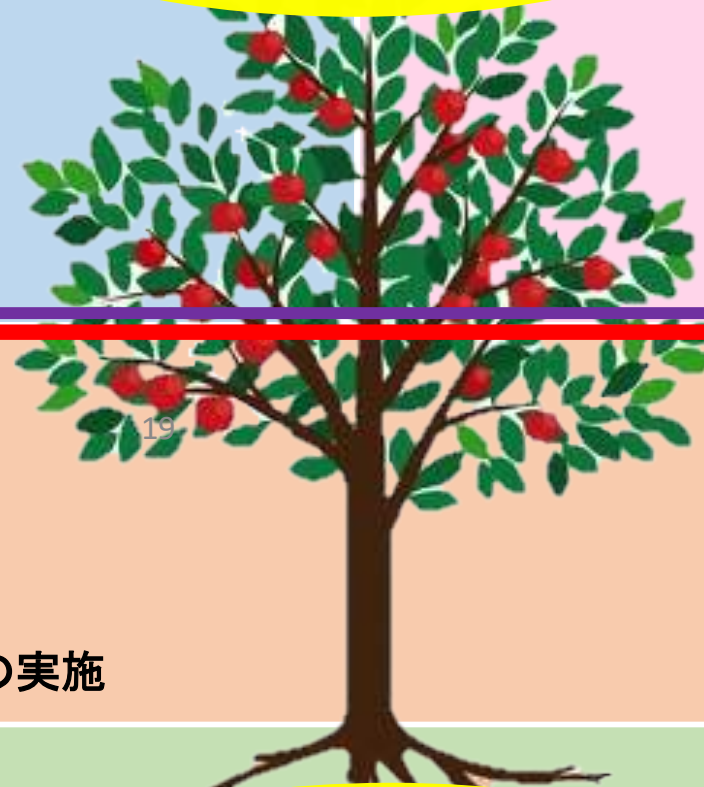
モデル林でのアクションプランの
策定と森林保全活動

共生圏事業で実施 組織づくりや仕組みの 検討

仕組みづくり(雨・太陽) 政策的視点

多様な主体が参画し、森林の保全と
持続可能な利用を推進するための森
づくりを推進する仕組みや
制度の作り込み

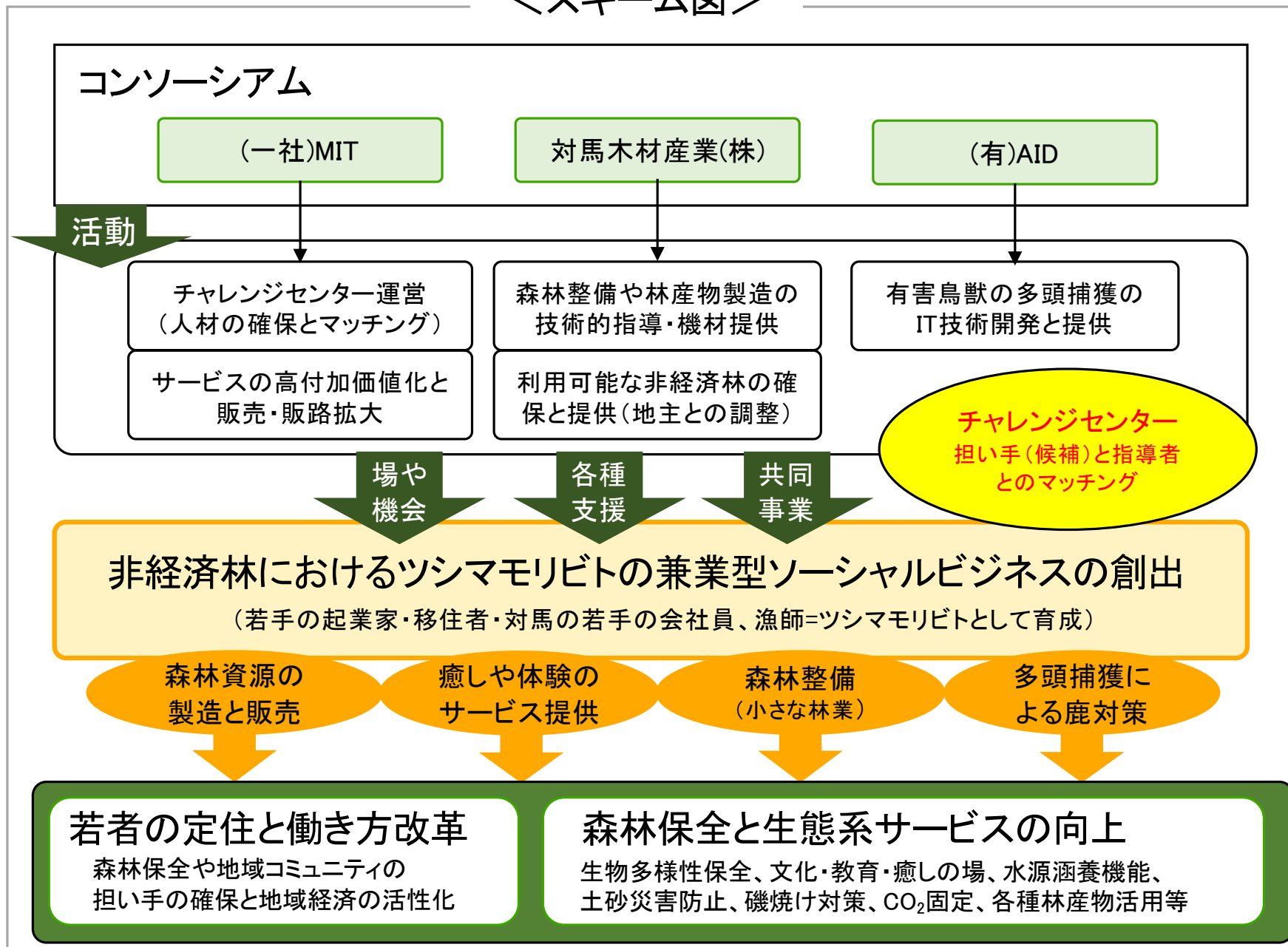
- とらやまの杜づくり協同
組合の設立
- ユネスコエコパーク登録
に向けた検討



休眠預金等活用制度に基づく第3世代による九州位置(地域)価値創造事業 自然共生型森づくりの多主体参加モデル事業

補助金額 2300万円(3年間)

<スキーム図>



木工品の高付加価値化



対馬の森の香り 好評販売中!!

【商品価格】

エッセンシャルオイル 5ml	
ひのき	1,000円
もみ	2,500円
すぎ	2,500円
除菌スプレー 10ml <small>お話しサイズ</small>	
各種	500円
<small>(ひのき/もみ/すぎ)</small>	
除菌スプレー 250ml <small>大きいサイズ</small>	
ひのき	1,500円

卸売り販売（買取）や大口取引も可能です。 ※価格は応相談

対馬の森の香り エッセンシャルオイルと除菌スプレーの使い方

爽やかな香りだにゃん♪

エッセンシャルオイルはアロマディフューザーやフレグランスプレートに数滴落として、香りをお楽しみください。

除菌スプレーはドアノブや机など、除菌したい所にスプレーしてください。乾いた後、ほのかな香りをお楽しみください。

※原液を直接肌ににつけないで下さい。

※手指消毒専用ではありません。

対馬の木を使ってみませんか？

対馬の森を愛し、対馬の森で働くツシマモリビト（林業事業者）達が、対馬の木材を原料にした商品づくりに挑戦しました。ぜひ使ってみてください。

ご購入はこちらから

MIT 一般社団法人 MIT

T 817-1602
長崎県対馬市上奥町佐須奈甲 562-24
TEL/FAX 0920-84-2366
MAIL info@mit.or.jp

製造者
対馬木材事業協同組合

オンラインショップ

売上げの一部はツシマモリビトの活動として伐採後の植樹費用に充てられます。

今後商品化したいもの

- 薪・木炭(サクラ、クヌギ、ナラ、カシ類)
- しいたけ原木(クヌギ、コナラ、アベマキ)
- チップ(針葉樹・広葉樹)
- 燻製用チップ(サクラ・ノグルミ類)
- 蜂蜜
- ツバキオイル
- エッセンシャルオイル(スギ・ヒノキ・モミノキ・クロモジ)
- メープルシロップ(イタヤカエデ、イロハモミジ)
- 木工品(箸や皿、鉛筆、漁具、キャットウオーク)
- 自然薯・たけのこ・その他山菜
- サンショウ
- ヤマチャ
- ナンテン(葉っぱビジネス)
- 猫用のマタタビ
- テボ・カゴ(竹)
- 家具・遊具(広葉樹)

森林整備などの技術的指導・チャレンジセンター運営



有害鳥獣の多頭捕獲のIT技術開発と提供

